

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	12-055	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Perceptions about genetic testing for the susceptibility to alcohol dependence and other multifactorial diseases.</p> <p>アルコール依存症と他の多因子的な疾患に対する感受性のための遺伝子テストに対する理解力</p>		
執筆者		
Marshall VJ, Kalu N, Kwagyan J, Williams C, Taylor RE, Scott DM.		
掲載誌		
Genet Test Mol Biomarkers. 2012 Jun;16(6):476-81.		
キーワード		
遺伝子テスト、アルコール依存症、感受性、多因子的な疾患		
要 旨		
<p>目的：</p> <p>遺伝子検査のリスクと利益について信じていること、態度、そして優先順位は、遺伝子検査を受ける被験者の意思決定にとっては重要である。この研究の目的は、アフリカ系アメリカ人においてほかの多因子的な疾患と比較して、アルコール依存症のための遺伝子テストの重要性を認識しているかを評価することである。</p> <p>方法：</p> <p>258人（男性 99人・女性 159人、年齢 39.39±14.62歳）の参加者に対して Genetic Psycho-Social Implications (GPSI) 質問紙（アルコール依存の仮定的の遺伝子検査について精神・社会的ないくつかの点を評価する）を用いて実施した。回答者は、がんの調査と同様にアルコール依存症の調査は重要だと認識しているグループと全く認識していないグループの2つに分けられた。統計処理はχ^2乗検定を使用し、9個のGPSIの質問内容を使用することで評価した。</p> <p>結果：</p> <p>86%に近い回答者がアルコール依存症の遺伝子テストは、がんの遺伝子テストと同様に重要であることと信じていた。アルコール依存症とがんに関するスクリーニングの重要性が同様であると思っている人々は、アルコール依存症というものが死に直結する疾患であるということを知っており、遺伝子テストを受けることが健康に良い影響を及ぼすことを認識していた。</p> <p>結論：</p> <p>アフリカ系アメリカ人は、アルコール依存症の遺伝子検査の重要性について好意的な態度と認識を有していた。アルコール依存症の遺伝子検査の重要性を認識することは、アルコール依存症の重篤性、一般的な遺伝子的検査の有用性の認識と関連していた。</p>		